

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	川西市立東谷小学校	研究グループ名	24
属・職・氏名	教諭 保田 喜穂	授業科学研究会	

研究テーマ分類番号 (16)

(1) 研究テーマ

授業研究を中心に、授業の法則性を明らかにし、教職員の実践的指導力の向上をめざす

(2) 研究経過及び具体的な取組

7月 8日(火) 夏休みの計画について話し合う

- ・実施場所：川西市立東谷小学校（4名）
- ・夏休みの研修計画を立てる

8月18日(月) 仮説実験授業「ものとその重さ」について研修

- ・実施場所：川西市教育情報センター（25名）
- ・成果と課題：実際に実験しながら、板書や掲示物について研究する。実験の仕方や、子どもたちにとってわかりやすい掲示物など、考えを出し合いながら工夫して作ることができた。

8月19日(火) 仮説実験授業「アートガラス」について研修

- ・実施場所：川西市教育情報センター（20名）
- ・成果と課題：上記の授業書について、授業体験をする。モデルを選ぶところから、実際に削っていく過程について、間違いやすいところ、特に注意がいるところについて説明を受ける。自分が作品を作りながら聞くことで、それぞれの注意点がよくわかった。高学年の教師から、実際に授業にかけてみたいという声もあった。

8月21日(木) 仮説実験授業「ひかりとかげ」

- ・実施場所：川西市教育情報センター（21名）
- ・成果と課題：講師より、授業のポイントや、実験方法の工夫などについて教えてもらいながら、授業体験をする。低学年で使いたいとの感想が多かった。

10月10日(金) 仮説実験授業「三態変化」研究授業

- ・実施場所：川西市立東谷小学校（4名）
- ・成果と課題：講師（元塚口小学校教諭）より、授業のポイントや、実験方法の工夫などについて教えてもらう。特に、授業への入り方について詳しく聞くことができた。また、実験に使う薬品について、その

扱い方の注意についても教えていただいた。

10月17日（金） 仮説実験授業「三態変化」研究授業

- ・実施場所：川西市立東谷小学校

- ・成果と課題：講師（元塚口小学校教諭）より、授業についてお話ししていただく。特に導入の場面について、薬品の提示の仕方や、実験の説明の仕方について、詳しく教えていただいた。また、二つ目の実験についての予想をとる場面で、子どもたちが自然に討論したことを受けて、無理に討論の流れを作らなくても、子どもたちの頭の中で討論しているという指摘があった。実験の説明から、予想・討論という流れについて、今後も授業研究していく必要性を感じた。